



子供を産み 育てられる環境を！

田中京子議員

問 放射能モニタリングについて

答 食品放射線モニタリングについては、本市はしっかり取り組みられてきたと理解している。食料は命の源であり、しっかりとモニタリングをする事が基礎である。今後も市民の安全・安心を確保するため、継続し拡張する考えはあるか伺う。

問 市民がモニタリ

答 市内各生涯学習センター等で実施している自家消費野菜等の検査では、昨年度6千172件、地産の主要農産物では1千581件を検査した。今後も検査を継続し、市民の利用を促して食に対する安全・安心の確保に努め、需要に応じて検査場所については対応していく考えである。

問 産祝金の支給等について

答 産祝金の支給等は、子育て家庭の経済的な支援のほかに、市が心から出産をお祝いするという気持ちや、今後前向きに検討していく考えである。

問 少子化対策について

答 少子化に歯どめをかける施策として、出産祝金の支給再開や出産を祝う事業の実施等の考えがあるか伺う。



ニコニコ笑顔でこんにちは！（原町区）

質問を終えて
これからが正念場です。先を見据えて、しっかりした基礎づくりが必要である。

その他の質問

- ① 環境放射線モニタリング装置の増設は
- ② 市内に防犯カメラの設置を
- ③ 街路灯の3区統一に向けて



GMG問題の 真相解明を求める

鈴木昌一議員

問 GMG社と締結した立地協定と土地売買契約は、本市が解除を通知。相手企業は異議を申立て、紛争に発展する様相だ。用地売却に主体的に関わった市長として、結果責任をどのように考えているか。

答 立地が実現できなかったことは全く残念。今後とも全力で企業立地に取組んでいく。

問 立地交渉の代理人K氏は市長のいとこで、社長から用地選定を含め、全権を委任されていたことが、市長面談メモから伺える。建設準備室

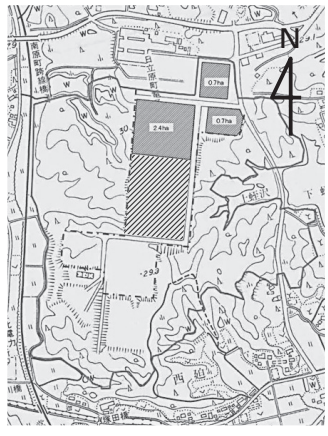
長を勤めていたこの人物は、本市への債務不履行が明白となった昨年5月末に突然退社しているが、市長は辞める理由を確認する必要があったのでは。

問 GMG社がかねて係争中だったプリチストン社に、昨年10月全面敗訴の情報がもたらされていたにもかかわらず、本市との契約解除の時期を今年3月末まで先送りしたのは不可解。今年1月の市長

退社の報告はあったが、辞める理由を問いただす必要は感じなかった。

問 市有財産の管理責任を負う市長が、自ら下した意思決定が、結果として本市に大きな打撃となったことに、一言の反省の弁もないのはどうしたことか。

答 企業側の事情とはいえ、残念な思いだ。



用地売却問題について訴訟に発展

質問を終えて
本市は土地の引き渡し債務の不存在確認を求めて提訴。今後は損害賠償請求訴訟に移行する。

その他の質問

- ① 契約解除後の対応と今後の見通しは
- ② GMG問題の原因解明と再発防止を

少子化対策の強化は



鈴木 貞正 議員

問 一人の女性が生涯生む子供の数、合計特殊出生率が毎年過去最低を記録している。

答 また、原発事故により避難生活を送られている状況でもある。こうした急速な少子化の進行が社会保障を初めとし、我が国の社会経済に重大な影響を及ぼしていると判断する。子育て支援に関する積極的な取り組みを伺う。

問 少子化の状況は、震災以降出生数が減少し、ゼロ歳から14歳までの人口は年々減少している。平成20年度に策定した次世代育成支援行動計画に基づき、子育てと仕事の両立支援、地域における子育て相談や支援事業を展開し本年度から幼稚園と保育園の授業料等の無料化を行うなど少子

化対策や子育て支援策の拡充に取り組んでいる。今後は、策定中の新たな子ども・子育て支援事業計画に子育て世代の声を十分に反映し、安心して子供を産み育てられる環境づくりに努める考えである。



人工芝で遊ぶ園児（原町区）

問 防犯のまちづくりは、かつて、日本は水と安全はただ、また女性の夜一人歩きも大丈夫だと言われるほど治

安のよい国と思われてきた。最近では凶悪な犯罪が多発している状況にある。振り込み詐欺、空巢、車上荒らし、自動車窃盗、痴漢、変質者への防犯対策などの考えを伺う。

答 関係機関と情報共有化を図り、地域住民の安全、安心の確保に取り組み。

質問を終えて
少子化対策と教育改革が一番である。

その他の質問

- 1 地域ぐるみの安全・安心の推進は
- 2 市立病院の健全経営の施策の考えは

一般質問



小川 尚一 議員

最大市民の最大幸福を願って

問 復興総合計画における「市民総幸福量」の指標化について、先の議会において総合計画の達成度や進捗度を測る指標の設定を行うことで検討しているとの答弁であったが、どのように計画に盛り込むのか伺う。

答 幸福度の指標化については研究段階であるが、幸福度に寄与する施策について指標を作り、実現に向け幸福度を上げていきたい。

問 移住者のごみ出しマナーとルールを守る取り組みについて、住所を移さず隣組にも加えない住民への対応について伺う。

答 住民票の移動のない方の把握は困難であり、アパート管理者へのガイドブック配布などの協力依頼をする。

問 市民植樹祭の今年

度の計画と、それを平成30年度の天皇陛下をお招きしての全国植樹祭へどう繋げるのか。

答 昨年の市民植樹祭は、皆さんの協力を得て盛会に実施できたことから、今年度も開催を目指して場所、樹種などについて県と協議中である。全国植樹祭は、県の全国植樹祭準備委員会の内定を受



昨年の市民植樹祭（鹿島区）

け、場所については年度末に正式に決定する。

問 原子力災害避難計画について、県の計画と市の計画に齟齬があるが、市民が混乱するため精査する考えは。

答 市は県外への避難を計画しており、年度内に県外避難先を県が調整する。

質問を終えて
幸福の条件は、豊かな人間関係。働くこと。健康。感受性ある心。自分に見合ったお金。

その他の質問

- 1 新しい森づくりは
- 2 防災計画における要保護支援者対応は
- 3 交通弱者のための公共交通施策は